

新たな DCC ビルは、地下に多目的ホール、1 階にコミュニティールーム、2～5 階にオフィスフロアを配置した構成です。照明は省エネ、省メンテを配慮し、主に LED ベースライト TENQOO シリーズ 埋込形と LED ダウンライトを採用。随所に LED のスポットライトや高天井器具等も使用し、用途に応じた快適な光環境が得られるようにしています。

DCCビルは、東京・中央区で商業印刷会社が運営していた、クリエイティブ部門の拠点として、1984年にマーケティンググループ、企画・デザイン制作グループを一元化してクリエイティブセンターを開設し、使用してきた建物。今回のリノベーションでは当初からクリエイティブ部門のビルとしてデザイン性に重視していましたが、更にデザイン性を高めて小規模ビルですが時代に則したユニークなテナントビルに生まれ変わりました。



【物件概要】
 所在地：東京都中央区新富一丁目 6 番 16
 建築面積：54.75 m²
 賃貸借室延面積：262.65 m²
 構造・規模：鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根、地下 1 階付 5 階建
 施主：花崎博己
 設計：スタジオ・メビウス ナカダ シロウ
 施工：内装／(株)新・エムシーオー(株)
 電気／(株)上岡電気商会
 竣工：2020 年 7 月



3階オフィスフロア LEDベースライトTENQOOシリーズ 埋込形①とLEDユニット交換形ダウンライト②を配置。

LED ベースライト TENQOO シリーズ 埋込形と LED ダウンライトを混在させ、照度分布を均一化。

2～5 階のオフィスフロア照明は、空間グレアを抑えつつ、レイアウト変更に合わせて空間全体を均一な明るさが得られるよう LED ベースライト TENQOO シリーズ 埋込形にプラスして LED ダウンライトを配置し、照度分布の均斉化を図っています。窓側は外光との光バランスを考慮して LED ダウンライトを配置 (平均照度 700 ルクス)。5 階の LED ダウンライトにおいては、調光形を使用して用途に応じた調光機能で企画室や会議室などに対応可能としています (平均照度 800 ルクス)。

1 階のコミュニティールームは、道路側の全面ガラスから採光を得た明るい空間。照明は温白色の LED ダウンライトを多用した雰囲気重視の照明設計とし、奥のミニキッチンには LED ライン器具の間接照明で柔らかな印象のくつろぎ空間を創出。地下の多目的室は、LED 高天井器具スタンダードタイプ調光形をベース照明に採用し、両壁面に沿って床面約 3m 高にライティングレール用 LED スポットライト計 12 台を配置、企画展示や商品展示などに活用できるようにしています。



LEDベースライトTENQOOシリーズ 埋込形①



(左) LED高天井器具スタンダードタイプ⑥
 (右) LEDスポットライト⑦



(左) 5階のオフィスフロア LEDダウンライトは調光形③を採用。
 (右) エントランスホール 間接光⑤+折り上げ天井に配置したLEDダウンライト④



1階のコミュニティールーム 温白色のLEDダウンライト④を多用、奥にはLEDライン器具による間接光⑤を設置。
 トイレ LEDダウンライト②を配置。



地下の多目的ホール LED高天井器具スタンダードタイプ調光形⑥とLEDスポットライト⑦を設置。

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名 (品名)	形名	台数	備考
オフィスフロア	① LED ベースライト TENQOO シリーズ 埋込形	LEKR415693W-LS9	24	消費電力：43.0W
	② LED ユニット交換形ダウンライト	LEKD153014W-LS9	13	消費電力：10.6W
	③ LED ユニット交換形ダウンライト (調光形)	LEKD153014L-LD9	8	消費電力：10.6W
コミュニティールーム	④ LED ユニット交換形ダウンライト (調光形)	LEKD153014WW-LD9	14	消費電力：10.6W
	⑤ LED ライン器具	LEDL-12501L-LD9	13	消費電力：29.0W
多目的ルーム	⑥ LED 高天井器具スタンダードタイプ	LEDJ-20506N-LD9	1	消費電力：123W
	⑦ LED スポットライト (4000K / 3000K)	LEDS-35113W-LS1 / L-LS1	12	消費電力：35.0W